

DEGAM 鶴岡 ICT アンケート 調査概要 (令和 4 年度 総計・同第 4 四半期)

I 令和 4 年度 (総計) の概況 [図 I-①~④]

- 年代別の割合では、50 代が 25.4% で前年度と同じく最多となった。また、30 代以下の割合 (計 27.1%) が前年度比で 5.8 ポイント増加した。
- 居住地別の割合では、前年度との比較で県外居住者が大幅増となった。特に 首都圏 1 都 3 県 (東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県、計 27.3%、前年度比 +6.8 ポイント)、隣県 4 県 (宮城県・秋田県・福島県・新潟県、計 31.3%、同 +11 ポイント) の割合が増加した。
- 一人当たりの予算 (宿泊費) については、2 万円超の割合 (33.2%) が前年度比では減少したものの、当年度では最多となった。
- 旅行期間については、1 泊 2 日の割合 (52.7%) が最多となった。前年度との比較では日帰り (13.8%、前年度比 +7.4 ポイント) 及び 2 泊以上 (計 33.6%、同 +3.2 ポイント) の割合が増加した。

II 令和 4 年度第 4 四半期 (令和 5 年 1 月~3 月期) の概況 [図 II-①~④]

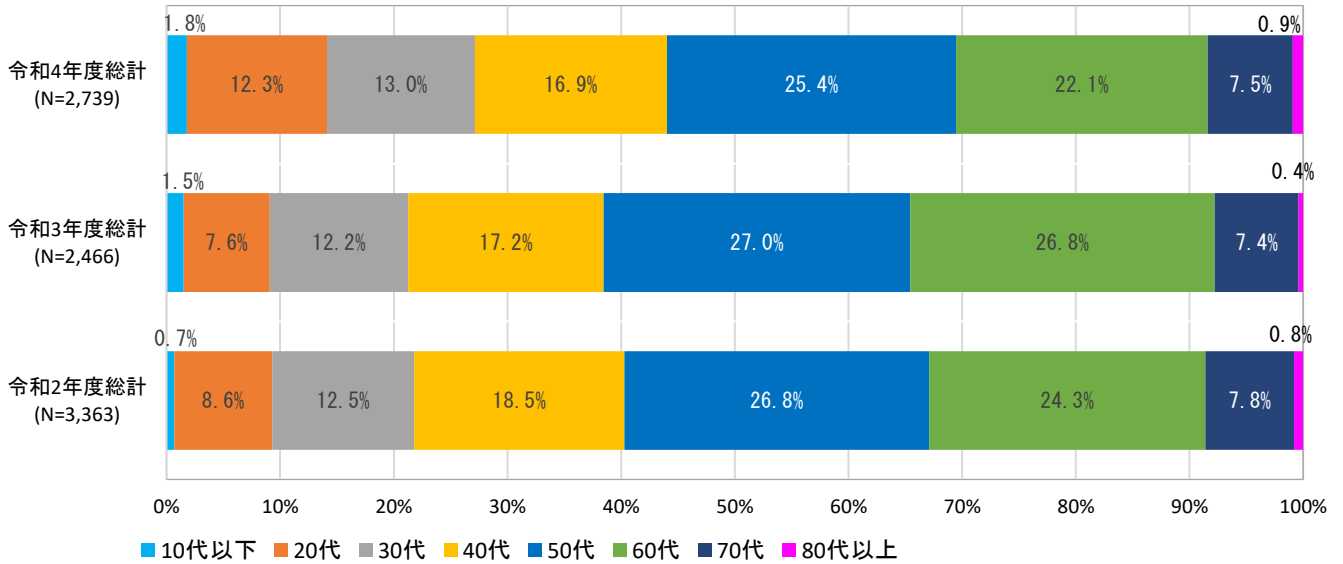
- 年代別の割合では、50 代の割合が 22.6% で最多となった。また、前期比で 20 代及び 30 代 (計 32.3%、前期比 +9.3 ポイント) の割合が大幅に増加した。
- 居住地別の割合については、エリア別では山形県 (28.3%、同 +2.2 ポイント)、隣県 (秋田県・福島県・新潟県、計 23.5%、同 +5.5 ポイント) の割合が増加した。
都道府県別では、山形県が最多で、次いで宮城県 (10.8%、同▲2.4 ポイント)、東京都 (10.1%、同▲0.9 ポイント) の順となった。
- 一人当たりの予算については、2 万円超の割合が 30.8% (同▲0.1 ポイント) で、前期に続き最多となった。
- 旅行日数では、1 泊 2 日の割合が 53.6% (同▲1.0 ポイント) で前期に続き最多となった。また、前期比で日帰りの割合 (17.7%、同 +3.5 ポイント) が増加した。

【調査方法】 (協力：静岡県立大学渡邊研究室)

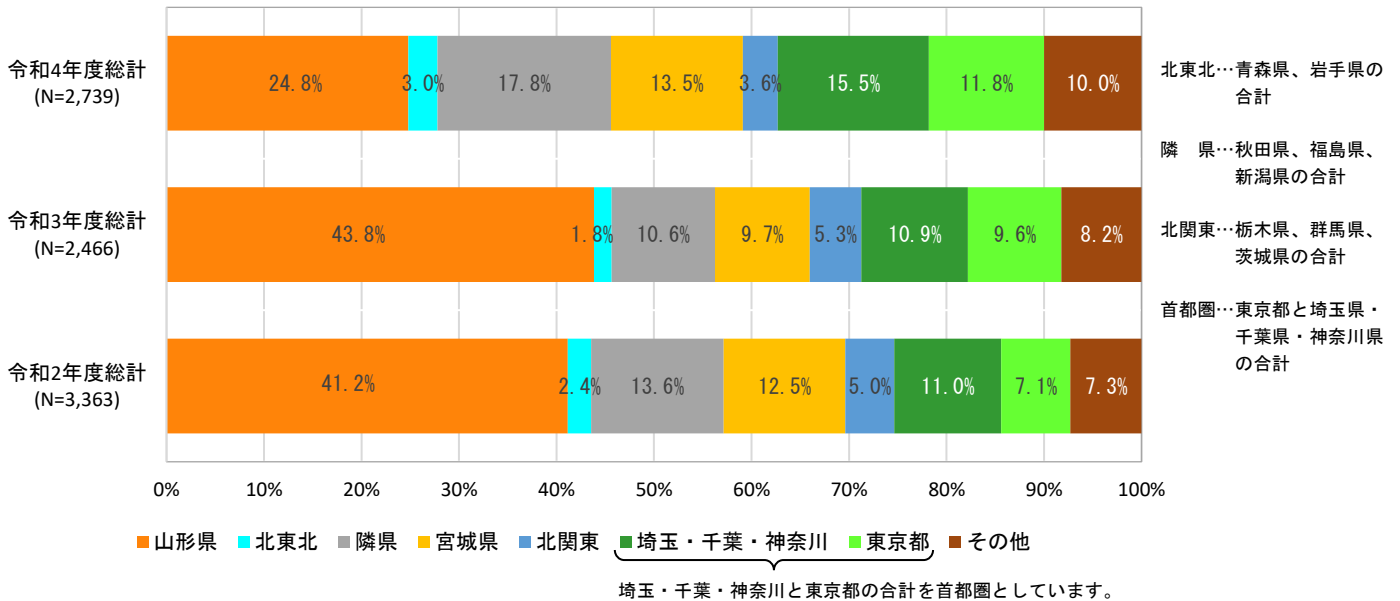
- ・ 宿泊・観光施設等で QR 付きカードを送付し、観光客がネット上で回答。

【図表 I】 令和 4 年度（総計）の状況

【図表 I - ①】 年齢（割合ベース）



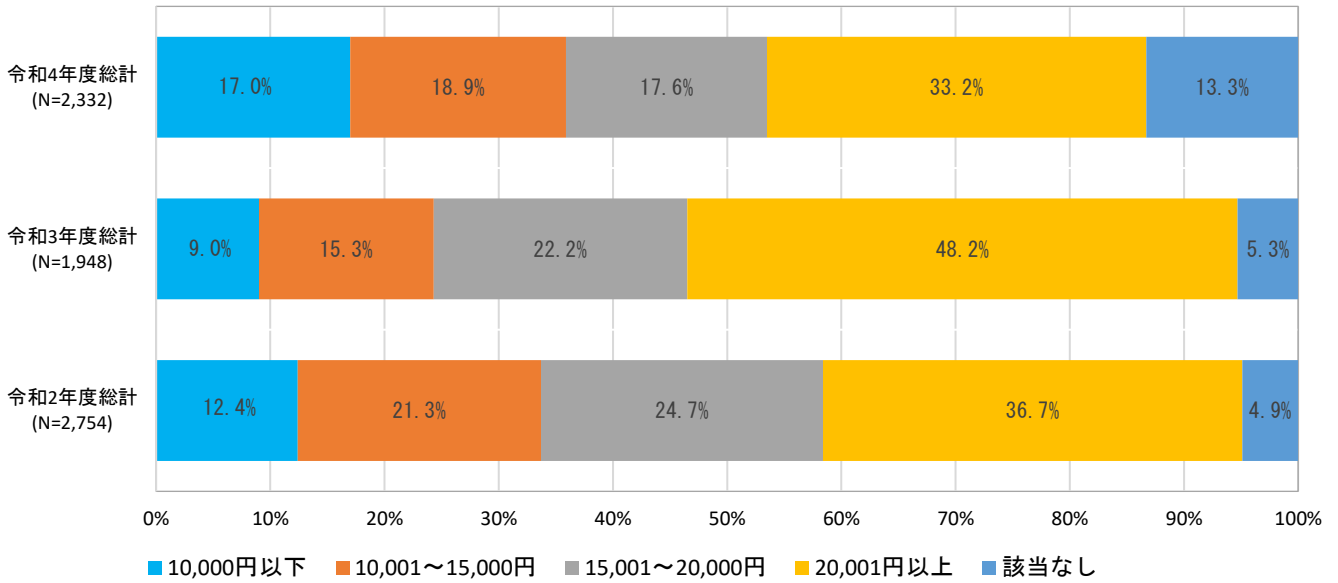
【図表 I - ②】 居住地（割合ベース）



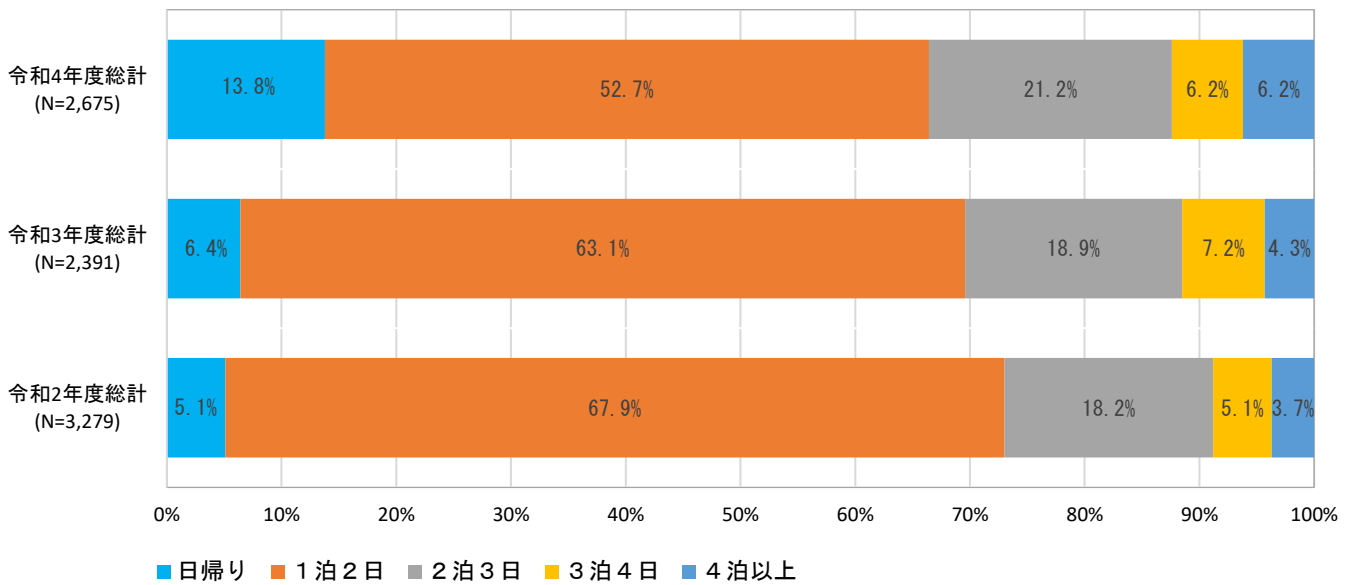
【都道府県別集計】（令和 4 年度 総計）

順位	居住地	人数 (割合)	順位	居住地	人数 (割合)
1	山形県	679 24.8%	7	福島県	126 4.6%
2	宮城県	370 13.5%	8	埼玉県	123 4.5%
3	東京都	322 11.8%	9	千葉県	120 4.4%
4	新潟県	196 7.2%	10	岩手県	51 1.9%
5	神奈川県	183 6.7%		その他	403 14.7%
6	秋田県	166 6.1%		計	2,739 100.0%

[図表 I - ③] 一人当たりの予算額〔宿泊費〕（割合ベース）

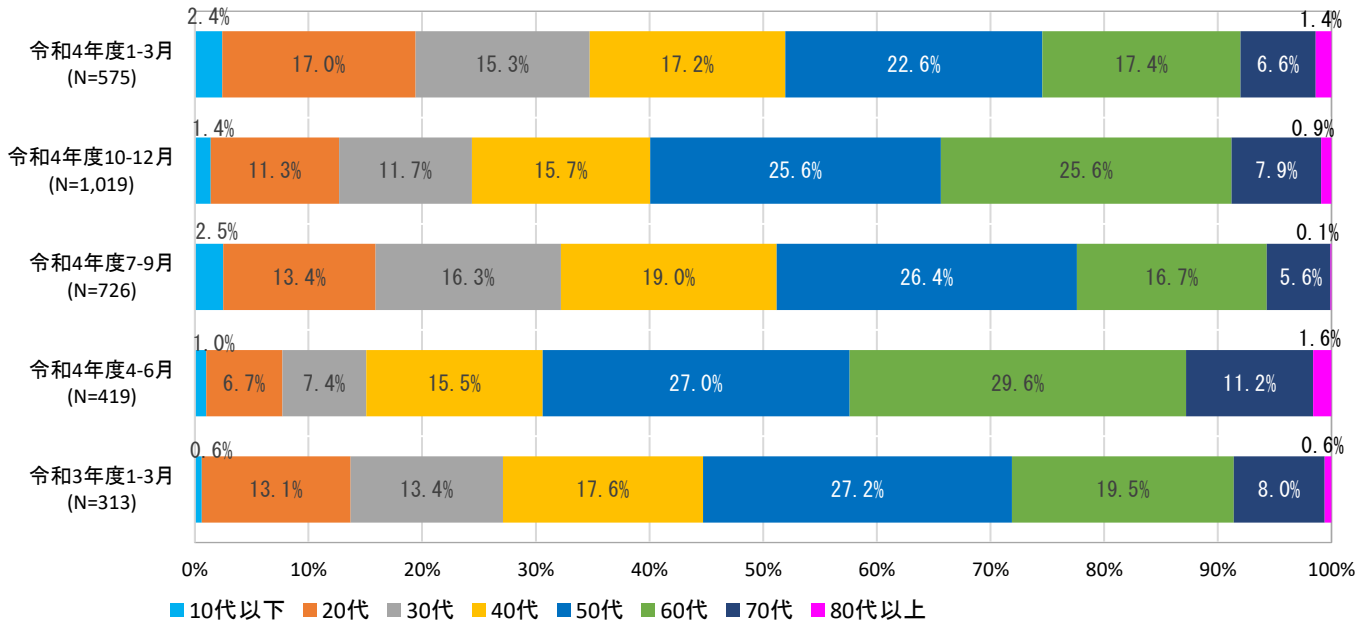


[図表 I - ④] 旅行日数（割合ベース）

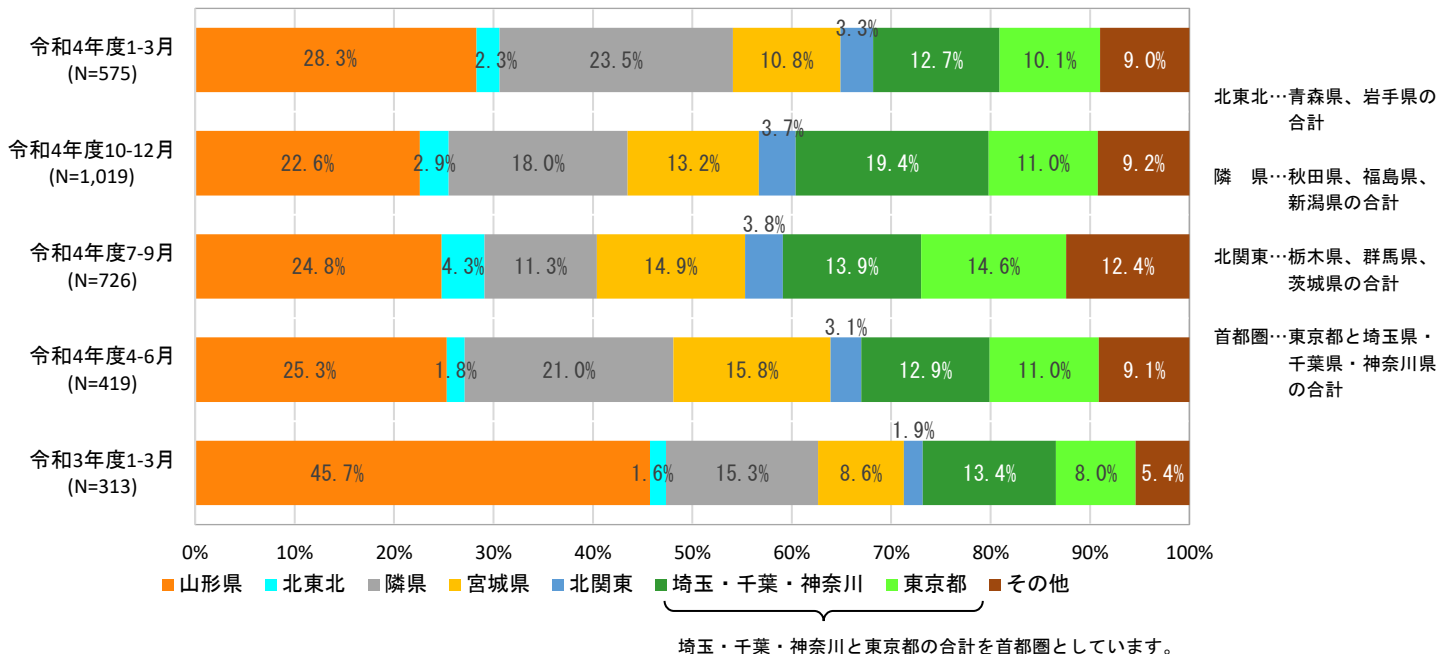


【図表Ⅱ】 令和4年度第4四半期（令和5年1月～3月期）の状況

【図表Ⅱ - ①】 年齢（割合ベース）



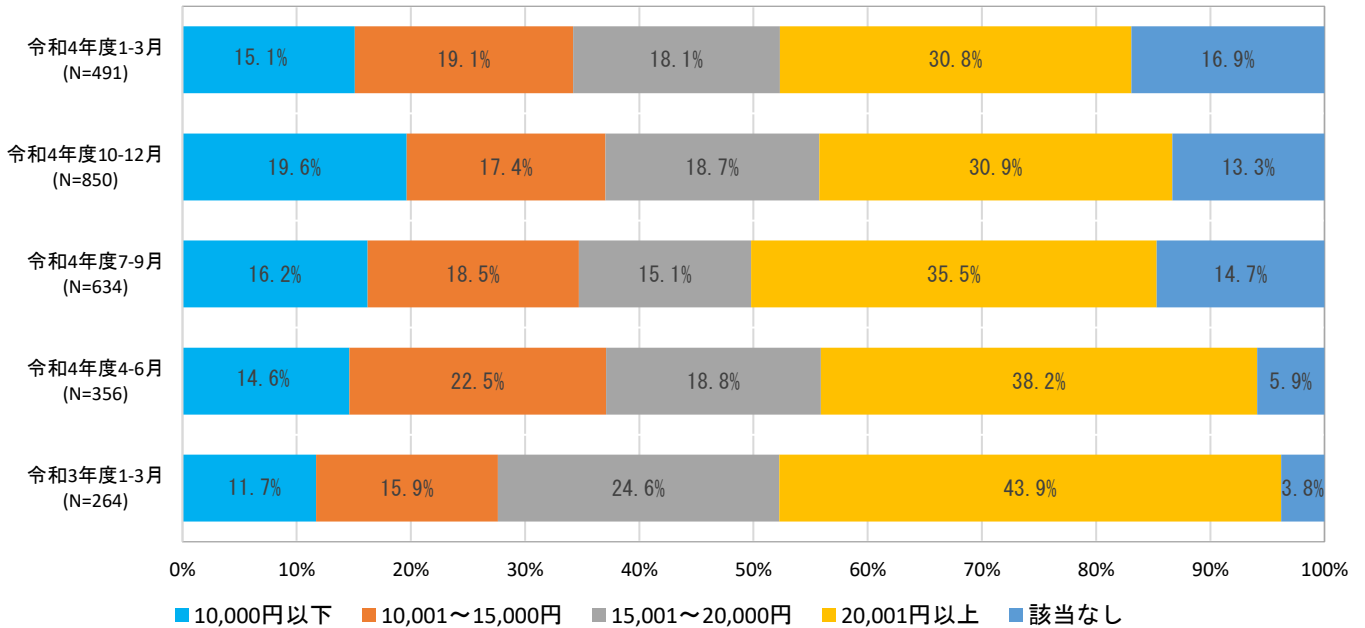
【図表Ⅱ - ②】 居住地（割合ベース）



【都道府県別集計】（令和5年1-3月）

順位	居住地	人数	割合	順位	居住地	人数	割合
1	山形県	163	28.3%	7	福島県	23	4.0%
2	宮城県	62	10.8%	8	千葉県	23	4.0%
3	東京都	58	10.1%	9	埼玉県	22	3.8%
4	新潟県	56	9.7%	10	茨城県	11	1.9%
5	秋田県	56	9.7%		その他	73	12.7%
6	神奈川県	28	4.9%		計	575	100.0%

【図表Ⅱ - ③】 一人当たりの予算額〔宿泊費〕（割合ベース）



【図表Ⅱ - ④】 旅行日数（割合ベース）

